

8月の子育て支援センターだより

～ 暑中御見舞い申し上げます ～

連日、熱中症警戒アラートが朝から発令されています。屋外で呼吸をするのも大変に感じられ、セクター庭のアラート計も危険レベルを表示しています。夏休みも始まり、皆さんいかがお過ごしでしょうか。センターでは、火田で収穫した供物を進めて、水遊びを開きをしました。タライに少し水をためただけですが、子ども達は気持ち良さそうにピチャピチャしています。日常のちょっとした変化が、子どもにはわくわくドキドキ冒険のひと時なのです。まだまだ暑さは続きますが、皆さんお身体大切に…うさぎの「てん」と「ごまお」も元気ですよ。



白黒うさぎ



グレープちゃん

8月の草花



さつまいも 花言葉…「幸運」

さつまいもの花は、特定の条件がそろわないと開花しないため、見つけられたらラッキーだそうです。本州では100年に一度しか咲かない」といわれるほどです。特定の条件とは…気温が高温続きで干ばつが来るとき。まさに今年の猛暑の中のセクター火田です。

わくわくの日



8月31日は野菜の日。きゅうり、ナス、トマト、ピーマン、シソ、栄養たっぷりの夏野菜を食べて、夏の疲れを吹き飛ばしましょう。センターの火田でも育てているので庭へ出た時みて下さいね。

7月のわくわくは、ボール遊びを行ないました。大きいボール、小さいボールに触れ、ボールの上に座ってジャンプしたり、投げたりころがけたり親子で楽しみました、

バランスボール？！→



大風こい！
こい！こい！こい！



暑い日が続いていますが、8月もわくわく!! 元気に過ごしましょうー♡♡

少し大きな赤ちゃんの日

7月のセンターでの水あそびでは、5か月の赤ちゃんの参加もあり、ベビーバスで足をバシャバシャさせて、泳いでいるようです。他の兄弟2組もいて、水でほうで水を遠くに飛ばしたり、下の子達は、顔に水がかかっても平気です。元気いっほいにたくさん遊びました。午後はぐすりお昼寝ができたのでは……

「寝る子は育つ」

夜しっかり寝ると
 からだが育つ
 脳が育つ
 ころろが育つ

眠りは大切です。夜きちんと寝て、朝しっかり食べて日中にたっぷり遊んで生活リズムが、少しずつ整っていかるといいですね。

暑い日々ですが、涼しいところで水遊びなどで、からだを動かして、お昼寝をして元気で過ごしてくださいね。

あかちゃんの日

8月になり、いよいよ暑い日が続きます。
室内で過ごすことも多くなりました。

あかちゃんの日では、親子でふれあい
あそびを中心に、室内であそべる、
いろいろな動きをとり入れています。
その他に、わりべうたや、絵本の
読みきかせも行っています。

おうちでも、見つめて、笑って
ふれ合って... 参考になる遊びが
たくさんあります。

ご参加お待ちしております。



どっちが皮？

カニが脱皮しました



～のびのびの日～

7月ののびのびの日は、じゃがいも掘り
を行いました。3月に植えた苗が育ち100日
ほどで立派なじゃがいもになりました。
今回は9組の親子の参加があり、全部で
37個のじゃがいもを収穫しました。
初めての体験に少し不安そうな子どもたち
でしたが、土の中を探るとゴロゴロ出てくる
じゃがいもに「っこり!! あった!!」と小さな
手に持ち、じゃがいもを見せてくれました。



たくさんとれたじゃがいもは、当日、みんなに
おすそわけができました。おいしく
食べられたかな?

しるがわ健康ダイヤル24

「ちょっとおかしいが、どう対処したら?」「赤ちゃんの発熱!」「
「どうしよう?」「家族の様子がいっぱいと違う?不安...」
こんなとき、24時間年中無休で相談ができます。

☎ 0120-377-240 (フリーダイヤル)

(通話料、相談料は無料)
(プライバシー厳守)

子ども医療電話相談 (#8000)

全国同一短縮ダイヤル「#8000」にかけると
住んでいる都道府県の相談窓口へ自動転送
され、すぐ受診すべきか、ホームケアの様子を
みるべきか、どの医療機関を受診したら
いいかなど相談できます。

相談受付時間

(日曜・祝日) 8:00～翌朝8:00
(年末年始)

(月～土曜日) 18:00～翌朝8:00

急に子どもがケガ病気

いざという時に...

(参照: しるがわ
子育て支援ガイドブック)



夜間急患診療所

夜間、急に具合が悪くなったときは、診療が
受けられます。

☎ 0279-23-8899 (内科・小児科・外科)

診療時間 19:00～22:00 (年末無休)

場所 渋川(長塚町)1760-1

(渋川ほととろす 1F北側)

救急テレホンサービス 0279-23-0099

救急車を必要としないケガや急病等のため受診
できる医療機関を知りたいとき、昼夜を問わず
24時間相談できます。

(消防本部・救急テレホンサービス)

いつもと違う...を感じとる

体調不良も伝える時「いつもと違う」
という感覚は救急受診の重要な目安
になります。元気な時の様子も
きちんと見てあげて「いつもと違う」を
キャッチできるようにしましょう。

